

# 教授会議事録

日 時：平成16年6月8日（火）午後3時10分～午後5時30分

出席者：伊藤所長（議長）他教授17名、助教授13名

議事に先立ち、議長から人事異動報告があった後に、6月1日付けで就任された種市所長補佐から挨拶があった。

## 議事録の確認

平成16年5月11日開催の定例教授会議事録について、原案のとおり了承された。

## 1. 報告事項

### (1) 学内諸会議等報告

#### ①所長

議長から以下について報告があった。

##### ○臨時部局長連絡会議

- ・平成17年度概算要求の取扱いに関連して「特別教育研究経費」の取扱いについて説明があったこと。
- ・東北大学高等研究教育基盤技術センター設置構想委員会が設置されたこと。

##### ○国立大学附置研究所長会議

- ・特別教育研究経費について説明があったこと。

##### ○全国共同利用研究所長懇談会

- ・法人化に伴い大学共同利用機関と附置研究所・共同利用センターのグループでそれぞれに分かれて活動していくこととなったこと。

#### ②その他

##### ○学務審議会

- ・論文提出による博士の学位論文審査手数料について、現在は57,000円であるが、法人化後は各大学が自由に設定できるので、検討を進めていること。
- ・学務審議会と全学教育審議会を平成16年10月1日から統合したいこと。
- ・学位記の大きさをA2版からA4版に変更したいとの報告があり、通研としては、博士課程学位記の品位を保ってほしいこと、また、そのことが、東北大学として良い方向になると思われると提案することとした。

##### ○研究推進審議会

- ・東北大学研究戦略室の設置について役員会に答申すること。

### (2) 運営会議等報告

#### ①所長会議

- ・報告事項なし

#### ②研究企画戦略室

- ・研究企画戦略室の特に広報に関することを諸会議HPに掲載すること。
- ・通研を代表してイベント等に参加する場合の経費として200万円を確保したこと。
- ・助手名称については文部科学省の法改正の動向を注視しながら再検討していきたいこと。
- ・NHK放送技術研究所との包括協定に基づく第2回研究交流会（5/26～）が盛会に終了したこと。
- ・NICTとの包括協定に基づく研究交流会を7月14日に開催すること。
- ・工学研究科技術社会システム専攻原山教授を招いて「スタンフォード大学における産学連携の歩み」と題して講演会（7/12 17:30～通研大会議室）を開催すること。
- ・諸会議の報告方法についてHPによる公開をしばらく続けて様子を見たいので、活用に協力願いたいこと。

③安全衛生委員会及び④安全衛生管理室

- ・安全衛生講習会を5月25日にナノスピンの総合研究棟カンファレンスルームで開催し、191名の参加を得たこと。
- ・学生教育研究災害傷害保険の加入促進について、各研究室で強く指導願いたいこと。
- ・所内の安全点検を継続的に行っていることの報告があり、現在は、点検結果をまとめ修繕費等の見積りを進めている段階であること。
- ・医務室及び休憩室の設置作業を進めていること。
- ・高圧ガス保安講習会を7月中旬に開催する予定であること。

⑤総務委員会

- ・通研公開の公開実験について、各部門グループに依頼し、公開実験4件、工作教室4件の提案をいただいたこと。
- ・通研公開の予算案について審議したこと。
- ・通研公開パンフレットの作成について、小中学生でも解りやすい内容にする方針で検討していること。
- ・通研公開の今後のスケジュールが確認されたこと。
- ・通研諸会議HPに安全衛生委員会及び安全衛生管理室を掲載し、6月1日から通研全職員が閲覧できることとしたこと。
- ・通研組織の英文表記について一部修正があったこと。

⑥予算委員会

- ・5月定例運営会議で予算配分方針(案)が承認され、本日、協議事項として予算配分書(案)を附議すること。

⑦環境委員会

- ・建物WGを開催し、建物の安全及び修繕等について優先度をチェックし、改善するよう指導したこと。
- ・建物の表示について検討を進めていること。

⑧情報デバイス研究部門

- ・客員分野教員候補者について審議したこと。

⑨ブロードバンド工学研究部門

- ・報告事項なし

⑩人間情報システム研究部門

- ・報告事項なし

⑪システム・ソフトウェア研究部門

- ・報告事項なし

⑫ナノ・スピン実験施設

- ・中央監視システムの順次修正及びチェックをしていること。
- ・設備が設計どおりに機能しているか調整し、安全面及びランニングコストについて検討した結果、6月下旬もしくは7月初めから実験が開始できる見込みが立ったこと。

⑬ブレインウェア実験施設

- ・報告事項なし

⑭IT-21センター

- ・内閣府総合科学技術会議の勉強会に参加し、ITプログラムと将来構想についての説明を行ったこと。
- ・財務省主計局の勉強会に参加し、内閣府総合科学技術会議の勉強会で説明した内容を含めて説明を行ったこと。
- ・文部科学省研究振興局情報課の視察があったこと。
- ・NICT・ITセンター(モバイル)・総務省の連携について、今後の方針について確認を行ったこと。

### (3) その他

- ①議長から、配付資料に基づき共同研究及び研究員等の受入れについて説明があった。
- ②通研部局史編纂委員会委員長及び通研部局史編纂WG委員長から、配付資料に基づき各研究分野毎の百年史部局史編纂作業について詳細な説明があった。
- ③中島教授から、配付資料に基づき超高密度・高速知能システム実験施設の決算報告があった。
- ④議長から6月3日に東北大学監事 杉山一彦氏の視察があった旨の報告があった。
- ⑤将来計画委員会委員長から、配付資料に基づき通研のキャンパス移転に関する基本的な考え方について詳細な説明があり、所内での共通の理解を得るための報告であること。また、引き続き、将来計画委員会が通研の移転等に関する問題について検討する旨の提案があり、了承された。

## 2. 協議事項

### (1) 規程の改正について

議長及び事務部長から、配付資料に基づき所長補佐設置に伴う規程改正について説明があり、了承された。

### (2) 予算委員会

予算委員会委員長及び経理課長から、平成16年度予算配分書(案)について詳細な説明があり、了承された。

### (3) 共同プロジェクト実施委員会

共同プロジェクト実施委員会委員長から、共同プロジェクトの実施に係る予算の執行について、法人化に伴い、従来の物件費と旅費が運営費交付金として一本化され、柔軟に扱えることとなったこととあり、下記のように取り扱いたい旨の提案があった。

①物件費と旅費は従来どおり分けること。

②プロジェクト毎の予算の総額の10%を限度として、物件費・旅費間の流用を認めること。

③旅行先として通研に来所する他、研究代表者のところに研究会等に行く場合を含めること。

種々意見交換の結果、③については、これまで全国共同利用研究所として予算要求した経緯があること、また、今後の予算要求においても重要な要素となることから、差し当たり、今年度の取扱は①及び②について了承することし、共同プロジェクト実施委員会と共同利用委員会で運用について検討することとなった。

### (4) 委員会等委員について

議長から、委員会委員の交代等について説明があり、了承された。

### (5) その他

①議長から、運営会議の運営について、今後は、次の教授会までの間に緊急に連絡又は協議が必要な事項がある場合のみの開催としたい旨の提案があり、了承された。

②議長及び経理課長から、配付資料に基づき概算要求方法の取扱が変更になったこと等について説明があり、了承された。

## 3. その他

### (1) その他

①矢野教授から通研改組及びナノ・スピンの総合研究棟落成記念式典の委員について提案があり、了承された。

②引き続き矢野教授から、配付資料に基づき客員分野教員候補者について説明の後に提案があり、日本人の候補者について了承することとした。